

エピソード

プールの水が凍り、氷をたくさん取って氷を通して遠くを見始めた子ども達。氷を取れた嬉しさに「見て」と氷を持ち上げ「向こうの方がボワボワってなってるよ」と、見え方が面白いことに気付き、友達と話していました。何度も覗きながらAくんは「やっぱりボワボワしてる」Bちゃん「みんなの顔もボワボワに見えるよ」と見ていました。①「ボワボワってどんな感じ？」と尋ねると、Aくん「氷は透明なのにグニャグニャって歪んで見えるってこと」Bちゃん「不思議だね」と、言いながら氷を通して遠くや空を見て、見え方を確かめていました。Aくん「冷凍庫の氷と同じで、水が固まってできたんだよね」Bちゃん「そうだよ、寒いからプールの水が固まったってことは同じだと思うよ」Cくん「プールの水も覗いたらボワボワって見えるから同じ？」と、不思議そうにしながら話していました。手で持って覗いていましたが、冷たかったためボウルに氷を置きました。Aくん「Bちゃん、見て、さっきよりもボワボワしてる」Bちゃん「うー」と、何枚も重なった氷を覗き、さらに歪んで見える様子に面白さを感じていました。氷に太陽の光が反射しBちゃん「眩しい」と言うとAくんは「光が氷に当たってるんだよ」と言い、Bちゃん「氷がいっぱい重なってるから眩しいのかな」と話していました。

子どもの育ちや学び

ボワボワって見えるよ

透明なのに…

やっぱりボワボワしてる

水もボワボワって見えるから？

全部ボワボワしてる



・氷を通して覗くと歪んで見えることに気付き『ボワボワ』という言葉で表現したことが、子ども達の中で共通の言葉になりました。(気付き)

・『ボワボワ』という言葉が子ども達の感覚で通じていましたが、保育者からの問い掛けに具体的に話すことで、不思議さを感じ確かめていました。(不思議)(確かめる)

・ふと感じたことや思ったことを友達と話していましたが、不思議なことを追究しようとするわけではなく、自分達の知っている『氷』や『水』など同じなのか話す中で確認していました。(不思議)(確認)

・氷が何枚も重なることで、さらに歪んで見えたため、驚きと面白さを感じていました。(驚き)(面白さ)

保育者の思い

- ・『ボワボワ』という言葉が子どもの中での共通の言葉になり感覚的にわかっているのだろうな…きっと輪郭が歪んで見えるということを伝えたいのだろうな…と思いながら「どんな感じ？」と尋ねてみました。
- ・不思議さを追究していくのか、不思議ということを十分に味わうのか見守っていました。冷凍庫の氷やプールの水を覗いた時の見え方など、今までの経験から知っていることと今回感じた不思議さをつなげて話している姿に追究ではなく、確認しながら不思議さを感じているのかなと思いました。
- ・不思議、驚き、面白さなど、今の季節だからこそ氷を通して感じる思いを十分に味わってほしいと思い、追究しようとするような言葉掛けをするのではなく、一緒に子ども達の気持ちに共感するようにしました。

家庭だったら…

不思議に感じたり、疑問に感じたりする時、どうしても追究できるような言葉掛けをしてしまいます。不思議さを十分に味わい、答えが出なくても今後いつかのタイミングで「あっ、あの時不思議に思ったな」と感じてくれるといいですね。